

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587002501	科目番号 / Subject code	05870025
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11721_005		
授業科目名 / Subject	口腔健康管理と審美 (食の科学) / science for food intake		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	齋藤 俊行 / Saitou Toshiyuki, 宮崎 敏博 / Miyazaki Toshihiro, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 北村 雅保 / Kitamura Masayasu, 佛坂 齊社 / Hotokezaka Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	齋藤 俊行 / Saitou Toshiyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	齋藤 俊行 / Saitou Toshiyuki, 宮崎 敏博 / Miyazaki Toshihiro, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 北村 雅保 / Kitamura Masayasu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	syto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7662		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17-18時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	生命とはからだの外と中との物質の交換システムそのものである。その交換システムをうまく利用 することによって、われわれはエネルギーを得ることが出来るし、繁殖が可能となり生命を継続す ることができる。物質の交換システムとは食事と排泄と呼吸である。我々生物は常にとつもない 数の分子と原子と素粒子を体内に取り込み吐き出ししているのだ。呼吸が出来なくなると生命活動は たちまち止まってしまうが、食事が出来なくなるとゆるやかに止まる。すなわち食べることは生き る事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入り口である。食に関連した人 体の構造、機能とそれは妨げる疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める 。		
授業到達目標/Goal	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義、セミナー以外に、テーマを自分で考えあるいは与えられ、それについて調べてプレゼンテー ションとディスカッションを行なう。受講人数によって方法は異なります。		
授業内容/Class outline/Con	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について、また栄養学、予防医学について。 1) 口腔咽頭の解剖学1~4 (宮崎) 2) 口腔咽頭の機能1~4 (久松) 3) 食と健康1~4 (北村) 4) 口腔と肥満1~3 (齋藤) 参考歯学部ホームページ 【口腔保健学: 齋藤, 北村】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_oh.html 【細胞生物学: 宮崎】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_cb.html 【特殊歯科総合治療部: 久松】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_gcscd.html		
キーワード/Key word	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特にありませんが資料配布を行いません。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回(10/3)	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学1 咀嚼と嚥下に関わる構造(講義)		
第2回(10/3)	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学2 消化管の構造(講義)		
第3回(10/17)	宮崎敏博: 口腔咽頭の解剖学3 咀嚼と嚥下のしくみ(学生によるプレゼンテーション)		

第4回(10/17)	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学4 歯と唾液腺と舌の働き（学生によるプレゼンテーション）
第5回(10/24)	久松徳子：口腔咽頭の機能1 嚥下って何？
第6回(10/24)	久松徳子：口腔咽頭の機能2 嚥下が悪くなると何が問題？
第7回(10/31)	久松徳子：口腔咽頭の機能3 嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？
第8回(10/31)	久松徳子：口腔咽頭の機能4 嚥下食って何？
第9回(11/7)	北村雅保：食と健康1 食品の機能性～一次機能（栄養）から三次機能（体調調節）まで
第10回(11/7)	北村雅保：食と健康2 日本人の食事摂取基準と保健機能食品制度
第11回(11/14)	北村雅保：食と健康3 特定保健用食品各論～むし歯と食品
第12回(11/14)	北村雅保：食と健康4 特定保健用食品各論～おなかの調子を整える食品など
第13回(11/21)	齋藤俊行：口腔と肥満1 口腔疾患（う蝕と歯周病）とその予防
第14回(11/21)	齋藤俊行：口腔と肥満2 口腔と生活習慣病
第15回(11/28)	齋藤俊行：口腔と肥満3 食と肥満
第16回	予備

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587003701	科目番号 / Subject code	05870037
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11751_005		
授業科目名 / Subject	口腔健康管理と審美 (審美) / Esthetics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 辻本 真規 / Tsujimoto Masaki, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 佛坂 斉社 / Hotokezaka Hitoshi, 田上 直美 / Tanoue Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 辻本 真規 / Tsujimoto Masaki, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 田上 直美 / Tanoue Naomi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工環2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	odatsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医歯薬総合研究科口腔インプラント学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-7688		
担当教員オフィスアワー / Office hours	15:00 - 17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標 / Goal	医療を含め、審美について理解を深める		
授業方法 (学習指導法) / Method	学生参加型授業		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	美の歴史、美の表現、審美		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	未定		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出、受講時の態度等で総合的に評価します。試験はしません。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	プレゼンテーションやレポートの提出があるため、欠席しないようお願いします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	審美材料1 (尾立)		
第2回	審美材料2 (尾立)		
第3回	審美材料3 (尾立)		
第4回	審美材料4 (尾立)		
第5回	審美修復1 (田上)		
第6回	審美修復2 (田上)		
第7回	審美修復3 (田上)		
第8回	ホワイトニング1 (辻本)		
第9回	ホワイトニング2 (辻本)		
第10回	ホワイトニング3 (辻本)		
第11回	美について1 (江越)		
第12回	美について2 (江越)		
第13回	美について3 (江越)		
第14回	美について4 (江越)		

第15回	美について5（江越）
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587052701	科目番号 / Subject code	05870527
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	口腔健康管理と審美 (ライフステージに合わせた口腔健康管理) / Management of oral health at different life stages		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 釜崎 陽子 / Kamasaki Youko, 綿本 隆生 / Takao Watamoto, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 釜崎 陽子 / Kamasaki Youko, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hotoke@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医歯薬学総合研究科歯科矯正学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-7668		
担当教員オフィスアワー / Office hours	9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	成長発育 (成育歯学) と加齢を含む生涯のライフステージでの、口腔の健康について知識を得る。 さらに心身の健康との因果関係まで理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	生後から老年期までの口腔健康管理について、および全身 (心身) との関係について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	学生参加型授業で講義の後に、グループ討議、発表、質疑応答を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回 食べる機能の障害について。哺乳期、離乳期からの個体の成長発育に応じた機能発達とその異常にどのようなものがあり、それらの異常が発育後の個体の美と健康にどのような影響を及ぼしうるかについて、考えてみる。受講される学生さんたちは、成長発達期のほぼ完了期に相当するが、彼等自身が考える美と健康 (主に口腔周囲) について、これまでのライフステージに存在したと考えられる因果関係について、さらに今後のライフステージにおいて実践できることについて考え、発表する。(釜崎)</p> <p>第2回 乳幼児期、学童期、思春期およびそれ以降の口腔の健康について。各ライフステージにおける口腔の健康について、簡単な講義を行う。前回の講義で発表した、それぞれの口腔の美と健康に関連すると考えられるエピソードを中心に、講義内容との比較を行う。相違点、合致点など各人が総括し発表する。次のライフステージで経験するかもしれない「子育て」に活かす情報とする。講義室で実施可能な簡単な実験を行う。各種飲料摂取と摂取後の口腔内pHの変化を記録する、エナメル質に傷を付ける、エナメル質を溶かすなど。(釜崎)</p> <p>第3回 前半: 実験結果発表。pHの変化はグラフ化する (学生各自)。エナメル質の傷や溶解の程度等の変化は、顕微鏡観察を行って (時間があれば電顕観察とする) 提示する。(釜崎) 後半: 口の中を観察する。(佛坂)</p> <p>第4回 ワールドカフェ: 口と健康に関してグループで話し合い、テーマを抽出する。(佛坂)</p> <p>第5回 抽出したテーマに関してディベートを行う。(佛坂)</p> <p>第6回 噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについてグループで話し合い、調べる。(平)</p> <p>第7回 噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについてグループで発表する。(平)</p> <p>第8回 (最終日3校時のみ)、噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについて総括する。(平)</p>		
キーワード / Key word	口腔、体、生涯、小児、老人、健康		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	発表、質疑応答、レポート		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	メールでお願いします。 釜崎陽子 ichiro@nagasaki-u.ac.jp hotoke@nagasaki-u.ac.jp 佛坂斉祉 hotoke@nagasaki-u.ac.jp 平曜輔 yohsuke@nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	お口の中は小宇宙です。それが年々様々に変化していく姿は単純な加齢変化ではありません。経年的な様々の変化を知ることで私たちの健康を知ることにつながります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

1	<p>食べる機能の障害について。哺乳期、離乳期からの個体の成長発育に応じた機能発達とその異常にどのようなものがあり、それらの異常が発育後の個体の美と健康にどのような影響を及ぼしうるかについて、考えてみる。受講される学生さんたちは、成長発達期のほぼ完了期に相当するが、彼等自身が考える美と健康（主に口腔周囲）について、これまでのライフステージに存在したと考えられる因果関係について、さらに今後のライフステージにおいて実践できることについて考え、発表する。（釜崎）</p>
2	<p>乳幼児期、学童期、思春期およびそれ以降の口腔の健康について。各ライフステージにおける口腔の健康について、簡単な講義を行う。前回の講義で発表した、それぞれの口腔の美と健康に関連すると考えられるエピソードを中心に、講義内容との比較を行う。相違点、合致点など各人が総括し発表する。次のライフステージで経験するかもしれない「子育て」に活かす情報とする。講義室で実施可能な簡単な実験を行う。各種飲料摂取と摂取後の口腔内pHの変化を記録する、エナメル質に傷を付ける、エナメル質を溶かすなど。（釜崎）</p>
3	<p>前半：実験結果発表。pHの変化はグラフ化する（学生各自）。エナメル質の傷や溶解の程度等の変化は、顕微鏡観察を行って（時間があれば電顕観察とする）提示する。（釜崎） 後半：アイスブレイク（難解なクイズをグループでとく）したのち、口の中を観察する。（佛坂）</p>
4	<p>ワールドカフェ：口と健康に関してグループで話し合い、テーマを抽出する。（佛坂）</p>
5	<p>抽出したテーマに関してディベートを行う。 例1：歯は必要である、必要でない。 例2：歯列は全身の健康を保つために必要である。歯列は全身の健康を保つために必要である。</p>
6	<p>噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについてグループで話し合い、調べる。（平）</p>
7	<p>噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについてグループで発表する。（平）</p>
8	<p>（最終日3校時のみ）、噛むことの効果と歯の治療に関するテーマについて総括する。（平）</p>